

NECのビジネスモデル

挑戦する人の、NEC。

NECは、最大の経営資源を「人」と位置づけ、組織と人材の力を最大限に活かすための制度改革や環境整備を「人への投資」として進めてきました。市場やお客様のみならず、働く人から選ばれ続ける企業「Employer of Choice」であるために、2019年に策定した

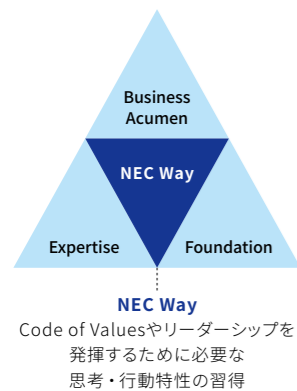
HR (Human Resources) 方針

「挑戦する人の、NEC。」のもと、人材一人ひとりへの多様な挑戦・成長機会の提供やフェアな評価、挑戦する従業員がベストを尽くせるよう環境や風土の変革を進めています。



人材育成における取り組み

人材育成方針



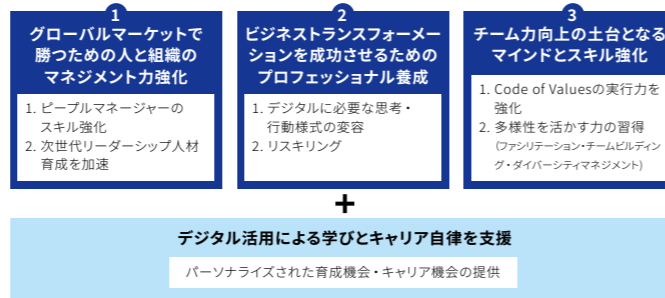
Business Acumen ビジネス理解
NECのビジネスやグローバルな市場動向を理解し、担当領域の戦略や施策に活かすための事業環境・トレンド・戦略の学習

Foundation 共通の基盤
プロフェッショナルとして必要な共通の能力の習得

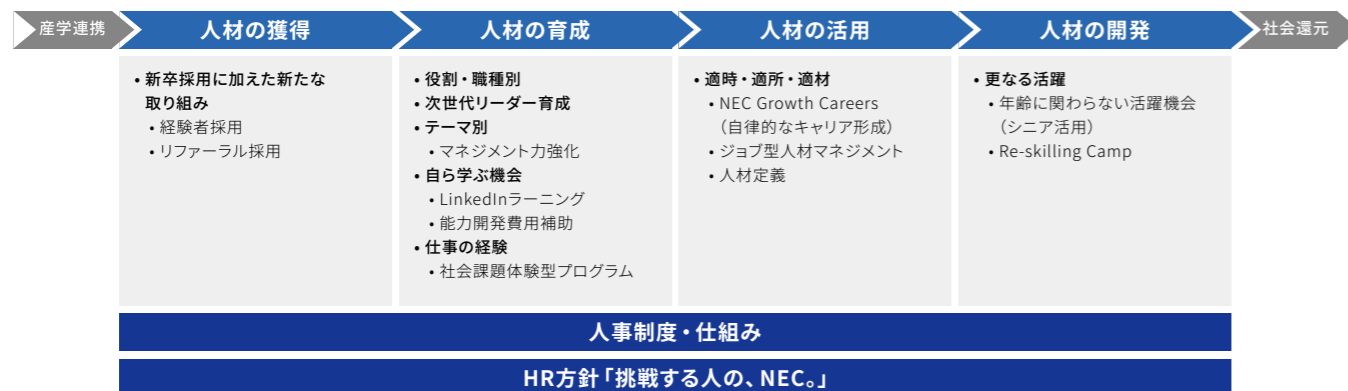
Expertise 専門性
専門分野における最先端のトレンド・プラクティスを学び、磨き続けることで、前例に捉われないアクションを立案・実行し、事業成長をリード

施策

一人ひとりが「事業マインド」「圧倒的な専門性」「変革をリードする力」を追求。オーナーシップ/マネジメントの力を高め、個人とチームの力を強化



人材育成プラットフォーム



カルチャー変革とインクルージョン&ダイバーシティ

カルチャー変革

- 行動基準 Code of Values
すべての社員が体現すべき日常的な考え方や行動の在り方を示したもの
- 四半期ごとに従業員へのサーベイを実施
施策の進捗を確認するとともに、次につなげる今の生きた声を収集

行動基準：Code of Values

視線は外向き、未来を見通すように
思考はシンプル、戦略を示せるように
心は情熱的、自らやり遂げるように
行動はスピード、チャンスを逃さぬように
組織はオープン、全員が成長できるように

多様なタレント人材の活躍：インクルージョン&ダイバーシティ

NECはジェンダーや世代、異なる背景を持つあらゆる人たちが活躍できる場を創り、お互いの持っている強みを更に磨き上げることによって、新しい世界を生み出すことができると考えています。NECがこれからも発展していくために、グローバルから異なる才能を持った人たちを集めて、最大のパフォーマンスを上げる機会を創り、クリエイティブに創発しあうことができるよう取り組んでいます。

⑤ 詳細はサステナビリティレポート2021 P.52 インクルージョン&ダイバーシティをご参照ください。

2025年度目標

女性/外国人役員 女性管理職
20%* **20%***

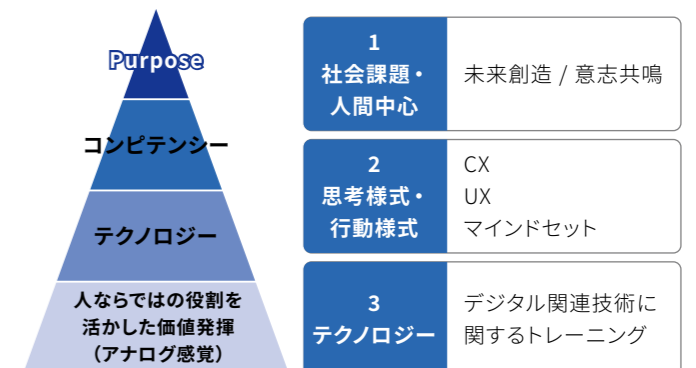
* 数値目標はNEC単体

タレントマネジメント：人材育成

NECが目指すDXの世界を実現するためには人材強化が必須です。また、コミュニケーションの密度を上げていくためには、特にピープルマネジャーが非常に大きな役割を果たすことになるため、ミドルマネジャー層の人材プログラムを強化しています。

具体的な取り組み

- 次世代リーダー育成
- DX人材育成



適時適材適所の実現：ジョブ型マネジメント

具体的な取り組み

- NEC Growth Careers
- キャリア採用の増加とリファーマル採用の導入
- NECライフキャリアの設立
社員一人ひとりのキャリアに寄り添いながらリスキリング、学び直しを推進
- 役割に応じた報酬水準で処遇する新たな仕組みにより、優秀な外部人材や若手を積極登用
例) 報酬上限のない首席研究員ポストの設置
報酬上限のない選択制研究職プロフェッショナル制度
非管理職を対象に、トップレベルの研究開発人材の獲得と育成に取り組む新卒ジョブ型採用

⑤ 詳細はサステナビリティレポート2021 P.56 人材開発・育成をご参照ください。

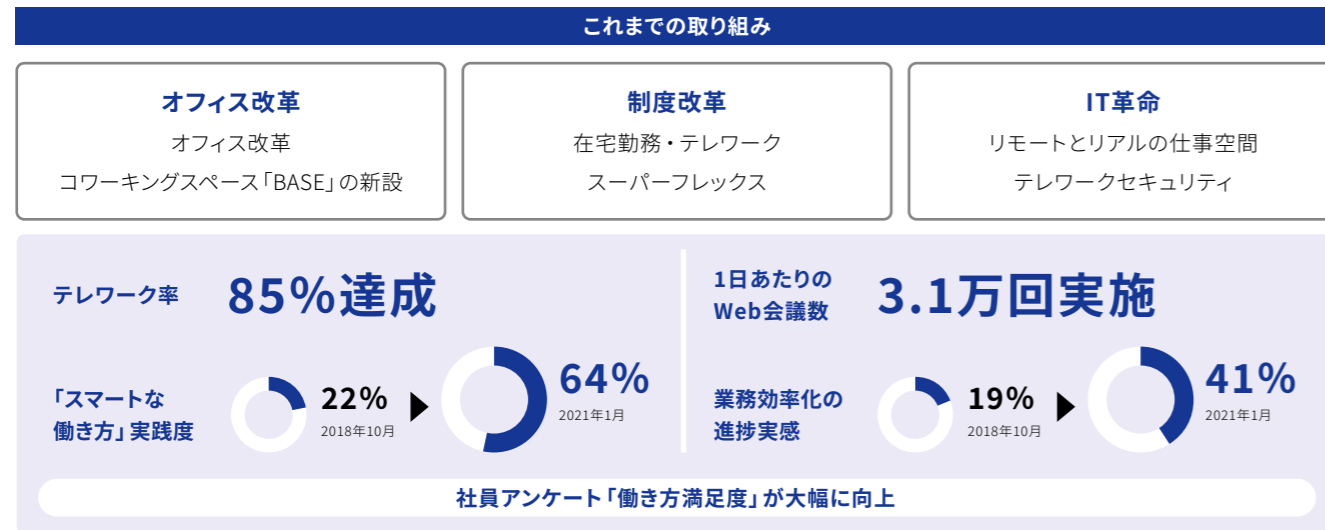
NECのビジネスモデル

挑戦する人の、NEC。

Smart Work 2.0：働き方改革とオフィス改革

これまでの「働きやすさ」から「働きがい」の向上に向けた取り組みへ

働きがい創造モデルの構成要素、「信頼」「挑戦」「成長」「誇り」、このサーキュレーションを実践することで、社員の、自律的なキャリアデザインを可能にし、働きがいを実感できる環境を提供していきます。



オフィス改革

最適な時間に、最適な場所で、最高のパフォーマンスが出せる環境を整備

Work Experience サーキュレーションの質と量を向上



「挑戦する人の、NEC。」を目指し、走り続ける

今、なぜ人とカルチャーの変革を懸命に推進しているのか。過去10年、中期経営計画が未達で成長が実現できない時期が続きました。皆が守りの意識を強くしたために実行力が弱まったことが最大の要因だと捉え、2020中期経営計画の3年間では、「実行力の改革」を経営戦略として掲げ取り組みました。人材・カルチャーを変革していく全社プロジェクト「Project RISE」を立ち上げ、トップ自らが「トップから変わっていく」という強いメッセージを発信し、マネジメントチームが行動で示すことで、「本気で変わろうとしている」と社内の空気も変わってきています。

しかし、人の気持ちは戻りやすいものです。アクセルを踏み、走り続けることを常態化しなければ激変する環境への適応力も向上せず、グローバルで勝てる組織にはなりません。この勢いを止めないために、2025中期経営計画で「NEC Wayの下に多様な人材が集いイノベーションを追求する会社へ。Employer of Choice - 選ばれる会社へ」を掲げエンゲージメントスコア50%というターゲットを設定しました。実現には社員一人ひとりが自ら考え、自ら行動を変革し、職場全体の変革につながる動きが必須です。そのための人事方針として「挑戦する人の、NEC。」を示しトップ自らの声を社員に直接届けるタウンホールミーティングの月次開催や、社

員の生の声(Voice of Employee)と真摯に向き合うための、3か月に一度のパルスサーベイなどを通じて経営と現場との距離を近づけ、風通しの良い風土づくりを進めています。

では、どんな人材像を目指すのか。まさにNEC WayにあるCode of Valuesを実践する人材です。採用、人材育成、評価といったあらゆる局面でCode of Valuesを活用し、日々の行動を高めようとしています。1on1による上司と部下との面談も、既に9割近くの社員が定期的実施しており、厳しいフィードバックや真摯なキャリア相談など面談内容を更に充実していくことがこれからのチャレンジであると考えています。

NECのポテンシャルを発揮し、グローバルで勝てる水準に達するためには、ジェンダーや国籍、経験、年齢など、あらゆる面で多様な人材が交わり、その交わりによりイノベーションが生まれます。単に多様な人たちが集うだけではなく、お互いを認め合い、活かすことでエネルギーは増幅します。このような会社には自然と人材が集まってきます。社員が自分の仕事に、自分の会社に誇りを持ち、今まで以上にワクワクしながら挑戦してみようと思うことが大切です。社員一人ひとりが、実現したい夢に向かって周りの人たちを巻き込み、夢中になった時、世界にインパクトをもたらす価値を生み出し、それが「未来への共感」の連鎖を生み出す。これが実現したい姿です。

NECのビジネスモデル

社員メッセージ

NECでは、HR方針として「挑戦する人の、NEC。」を掲げ、社員の力を最大限に引き出すべく、人・カルチャー変革を推進しています。ここでは、社会価値の創造に取り組む社員のメッセージをご紹介します。



クリス ホワイト

NEC Laboratories America
社長

破壊的イノベーションにより人のニーズに添えていく

真に価値あるイノベーションとは、既存の壁を取り払い、未知の需要やビジネスチャンスをも創出し、人のニーズに添えるものです。NEC北米研究所の使命は、このような破壊的イノベーションを生み出すことです。新中計では、来たる技術革新を見据え、NECが新たな技術やプラットフォーム、ソリューションやアプリケーションの創出をリードするポジションの確立に取り組んでいくことを打ち出しています。NECは長年、幅広い技術分野で高い専門性を培ってきており、今日では世界を舞台に破壊的イノベーションを実用化できるユニークな存在です。

そのためには明瞭なコミュニケーションや、強力なコラボレーション、そしてこれまでにない速さでの実行が不可欠です。コミュニケーションは理解を深め、焦点を絞り、明晰なアイデアをもたらします。コラボレーションによりNECの実行力を増幅し、不可能と思われるような難題に対しても多様な視点で向き合うことで、まだ見ぬ解を生み出すことができます。研究開発からビジネスに至るまで、スピーディで優れた総合力を持って、顧客満足に至るまでのすべてを実現しなくてはなりません。

研究者というのは、自らの研究結果が世に影響を与えることを望んでいるものです。NECには素晴らしいお客様がいて、新技術がもたらす未来のビジョン、研究者の挑戦を応援する風土もある。そんなNECで仕事ができる幸せを実感しつつ、今後自分たちが何を成し遂げているのか、ワクワクしています。

自治体の課題を解決して安全・安心な街づくりを

私はドライブレコーダのデータとAIを活用して、自治体を持つ道路面の劣化診断を自動で行う「くるみえ for Cities」という事業に携わっています。元々はドラレコを使用した安全運転の支援を行っていましたが、私自身も何か新しいことに挑戦してみたいと思っていた時に、既存ビジネスを発展させて新事業に取り組むチャンスがあり、現在の業務へと移りました。

従来、自治体が管理道路を網羅的に点検するには多くの予算や時間が必要でしたが、我々のソリューションでは専用車でなくても普通車にドラレコをつけて走行いただければ良く、点検業務の効率化や予防保全の実現につながり、多くの自治体が抱える道路維持管理の課題を解決することができます。また、この先は空港の滑走路診断にも事業を拡大すべく日々挑戦しています。

道路というのは私自身も一利用者ですし、家族や友人など身の周りの近い人達もその価値を享受していると考ええると嬉しく思います。目標として安全・安心な街づくりを掲げており、国内はもちろん世界中にその価値を拡げていきたいと考えています。



岩淵 香

システムプラットフォーム
ビジネスユニット
システムデバイス事業部
マネージャー

榎野 沙織

グローバルビジネスユニット
グローバル事業推進本部
主任

途上国から始まる、NECの生体認証技術による社会価値創造プロジェクト

私は幼児指紋を利用したワクチン接種のプロジェクトを国際機関と連携しながら推進しています。このプロジェクトは、ワクチン接種の履歴管理が困難な途上国の幼児を、指紋認証を用いて管理することで接種の促進を目指すものです。非常に難しい幼児の指紋認証を、NECの優れた生体認証により実用化するという、世界初の試みを行っています。

以前、留学先で社会インフラが整備されていないし寄せを子供たちが受ける現実を目の当たりにしたことで、途上国と企業双方にとってwin-winとなる社会基盤強化に携わりたいと思い、NECに転職し、この事業に携わっています。

途上国は開発資金を必要としており、かたやNECは営利企業として持続的に事業を行うためにも利益創出しなければならないため、政府や国際機関と連携し、途上国が軌道に乗るまでの資金支援も一緒に考える必要があります。その点では前職の金融機関での業務経験が活かしています。

NECは社会価値創造企業です。課題を知る人の話に耳を傾け、技術を活かしてソリューションを一緒に作っていく。それができるのがNECの強みです。

安全・安心なインフラを提供する新たな事業の立ち上げ

私は2020年度に新入社員として入社し、道路の信号機等に5Gを取り付けることで交差点の状況を把握し、自動運転支援や事故の抑制等に活用する事業の立ち上げを行っています。日々の業務で大変なのはゴールへの道筋が明確ではないことです。時には手探りで進みながらも、先を見通して、そこから逆算して力が必要とされますし、ただ事業化するだけではなく、いかにマネタイズしていくかも考えなければなりません。

元々、学生時代から地域創生やサステナビリティに興味があり、国と連携した取り組みができる会社ということでNECに入社しました。入社前はNECにカッコイイイメージを持っていましたが、思っていたよりもスピード感があって、周りにはアクティブに動いている方が多く、私も目の前の課題を一つずつクリアして経験を積んでいこうと思っています。まずは事業を立ち上げ、安全・安心なインフラの提供、更には収集したデータを活用した渋滞抑制なども実現すべく取り組んでいます。将来的にはこの事業立ち上げの経験を活かし、地域の活性化を目指して観光や農業などの分野における課題解決にも携わっていきたくと考えています。



松本 望

クロスインダストリーユニット
クロスインダストリー事業開発本部

コンサルティングを通じてお客様の描く将来像の実現に貢献

私は2020年3月に入社しましたが、想像以上に社内のコラボレーションは活発に行われていました。NECの人や技術を見渡すと、限りない可能性を感じます。技術を自ら創造し続けているNECだからこそ、先を見据えた思考ができていますが、まだまだ社会にもお客様にも貢献してはいるはず。多少のズレがあっても、お客様の成功に貢献できる“仮説”をもっと早いタイミングで、提案に行く姿勢が必要だと感じていますし、スピードを持って価値を届けるという点で、コンサルという存在がNECの内側にいる意義は大きいと考えています。

我々の役目は、お客様が描く将来の価値創出に貢献し、成功と挑戦を具現化することだと思っています。この価値創出というものは、差異化や付加価値だけではなく、価値創出を継続することでその価値は増幅し続けるのではないのでしょうか。デジタル技術を根幹に、価値のアップデートと社会貢献の両方を具現化してこそサステナブルに存在意義を実現することができるはず。例えば投入資源や資産をより効果的に活用し、バリューチェーンの効率を上げることでコスト削減だけでなく、資源のロス削減やカーボンニュートラルにも貢献し、サステナブルな社会貢献へとつながると思います。また、こういった取り組みこそが、お客様の先のお客様や最終受益者への付加価値を創出・増大させることにもつながるでしょう。NECは、お客様が将来像を具現化するための課題をどう解決するのかを共に考え、現在のテクノロジーとこれからの可能性を踏まえて試行し、成果を重ね、成長実現に貢献していきます。



桃谷 英樹

デジタルビジネスプラットフォーム
ユニット
DX戦略コンサルティング事業部
マネージング・エグゼクティブ